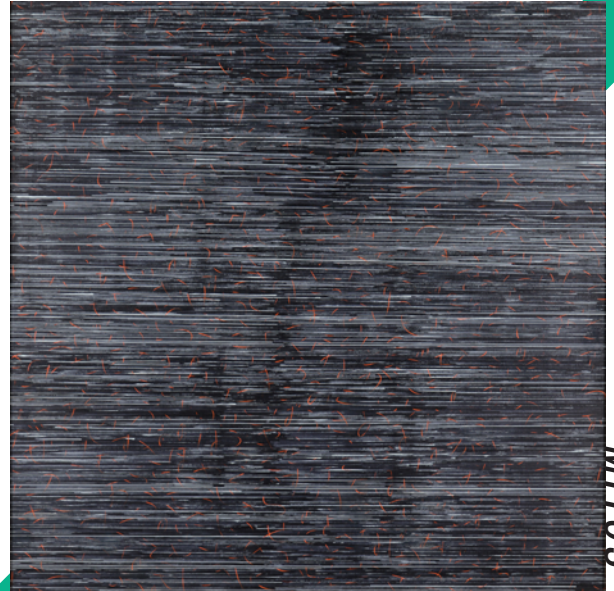


Kiyosu City
Haruhi Painting Triennale
Artist Series

Satoshi Fujimori



(tableau 2021-02 (Kushan))

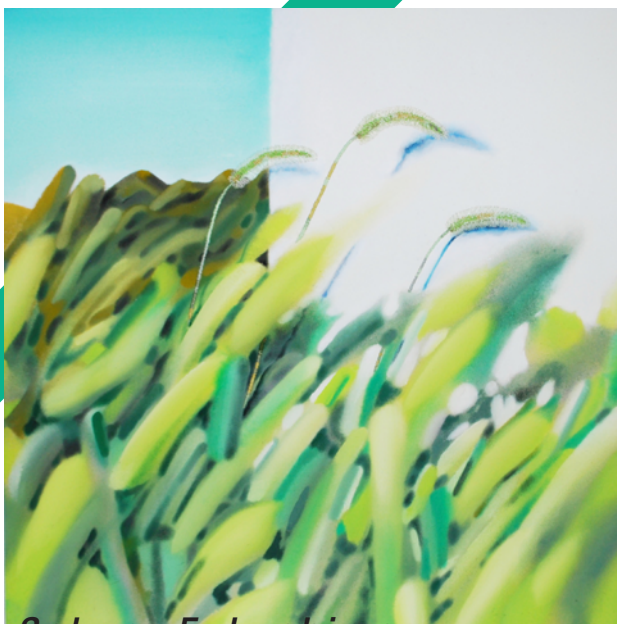


(線)

MITOS

清須市

はるひ絵画トリエンナーレ
アーティストシリーズ



Sakura Fukushima

(float)

Vol.96 藤森 哲展

2021.12.14 (火) - 2022.1.10 (月・祝)

Vol.97 MITOS 展

2022.1.15 (土) - 2.6 (日)

Vol.98 福嶋 さくら展

2022.2.11 (金・祝) - 3.6 (日)

開館時間 | 10:00 - 19:00 (入館は18:30まで)

休館日 | 月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日が休館)、12/29 - 1/3

観覧料 | 一般 200円、中学生以下無料

※20名以上の団体は1人160円

※各種障がい者手帳等提示者は無料 (付添者は1人100円)

主催 | 清須市はるひ美術館

同時開催

清須市はるひ美術館 収蔵作品展「こころをうつす、ひとのすがた」

清須市はるひ美術館

〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森1番地

TEL 052-401-3881

清須市はるひ美術館はTRC・名古屋三越グループ共同事業体が管理・運営しています。



清須市

はるひ絵画トリエンナーレ アーティストシリーズ

Kiyosu City
Haruhi Painting Triennale
Artist Series

清須市はるひ美術館では1999年の開館以来、新たな才能の発掘・育成を目指し、絵画(平面作品)の公募展を継続して開催してきました。「アーティストシリーズ」は、この公募展で高く評価された作家から厳選し、1名ずつ個展形式で取り上げる展覧会です。

今回は、2021年4月～6月(審査は2021年2月)におこなわれた公募展「清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレ」の受賞者のなかから、藤森哲、MITOS、福嶋さくらをご紹介します。シリーズを通して作家それぞれの個性を改めてお楽しみいただければと思います。

Vol.96 藤森 哲展

2021.12.14(火) - 2022.1.10(月・祝)

1992年、毛利衛が宇宙へ行った。当時描かれた来るべき21世紀の未来予想図は、月面基地や宇宙旅行の夢に溢れていた。その様は「国家」や「戦争」という人類に不可欠な要素が描かれなかった故に、現実と大きく乖離した。そこにあったのはユートピアであり、別世界のおはなしである。1世紀から3世紀にかけて栄えたクシャナ朝の仏像を観る機会があった。それは近未来的な現実味を孕んでいた。既に滅びた歴史は、いつか私たちにも起こるディストピアとしての未来と重なり、文明がループする。仏像やロケットのイメージを画面上に再構築することで、過去=未来を織り交ぜた新たな絵画空間をつくらうと試みている。

Satoshi Fujimori

1986年、神奈川県生まれ。2011年、筑波大学人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻洋画領域修了。2020年、シェル美術賞展2020入選。2020年、グループ展「おやま豊門芸術祭 うつろいの住処」豊門会館和館、旧和田豊治家住宅(静岡)、2021年、個展「絶対景感」コバヤシ画廊(東京)など個展・グループ展多数開催。

清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレ準大賞



藤森 哲 (tableau2020-09 (Kushan))

Vol.97 MITOS 展

2022.1.15(土) - 2.6(日)

支持体という物質に対して絵の具という物質を乗せてゆく作業の中で、物差しの外側への展望が生じてくる。偶然性を手繰り寄せるための装置を設計し、発明する。私は何を描くかより、線そのものへの関心が強い。一喜一憂しながら壊れた玩具の如く反芻してゆく。絵画の線とは何だろう?と常に問いながら。

MITOS

1985年生まれ。2008年、名古屋造形大学美術学科 洋画コース卒業。2018年、個展「signal」金山ブラジルコーヒー(愛知)、2017年、個展「波浪」The Blue Box Gallery(愛知)、2020-2021年、グループ展「無能服十月十日展」MUNO(愛知)、2019年、グループ展「ART START UP 100」代官山ヒルサイドテラス(東京)など。

清須市第10回
はるひ絵画トリエンナーレ審査員賞(加須屋明子)



MITOS (色と線)

Vol.98 福嶋 さくら展

2022.2.11(金・祝) - 3.6(日)

過去の記憶の断片や、その断片から想像するまだ見ぬ未来の景色を描いている。頭の中の記憶は時間の経過と共に変化し、知らぬ間に色や形を変えて全く新しいものになっていたりする。自分の中で曖昧に変化した日常の一瞬を見つめ直し、形を与え直すことが絵を描くことであり、その像を定着させるように糸を縫う。

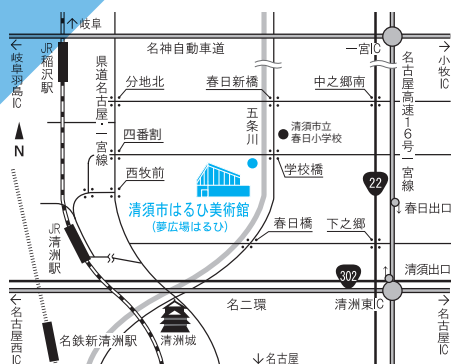
Sakura Fukushima

1987年、熊本県生まれ。2012年、武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。現在、東京を拠点に活動。2017年、個展「一編」WHITE SPACE ONE(福岡)、2016年、個展「あしたはさかのぼる」つなぎ美術館 U39プロジェクト(熊本)、2017年、グループ展「美の鼓動九州クリエイター・アーカイブ vol.2」九州産業大学美術館(福岡)など。

清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレ大賞



福嶋 さくら (stolen landscape)



同時開催 |
清須市はるひ美術館 収蔵作品展「こころをうつす、ひとのすがた」

- 電車でお越しの場合
・JR東海道本線「清洲駅」下車、徒歩約20分
または「きよすあしがるバス」をご利用ください
・JR東海道本線「稲沢駅」下車、タクシーで約10分
・名鉄本線「新清洲駅」下車、タクシーで約10分
- 車でお越しの場合
※無料駐車場をご利用ください(104台)
・名二環、清洲東ICより約5分
・名神高速道路、一宮ICより約20分
・名古屋高速道路、一宮からは春日出口より約5分、
名古屋からは清須出口より約5分

夢広場はるひ

清須市はるひ美術館

〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森1番地
TEL 052-401-3881 <http://www.museum-kiyosu.jp>